



丹波篠山国際博
日本の美しい農村、未来へ

丹波篠山国際博だよら

問い合わせ 丹波篠山国際博実行委員会事務局 ☎558-8891

詳しくは
こちら



国際博 NEWS | ~1月の情報をまとめてお届けします~

荒木城跡 元旦初日の出登山

1月1日、細工所の山城・荒木城跡(標高404m)で、初日の出登山が行われました。この行事は、約40年前から続く地元の恒例行事で、地元有志の会のメンバーの皆さんが山頂からの眺望を良くしようと、生い茂っていた樹木を伐採。その後、山頂で初日の出を見ようと、イベントが始まりました。



今年の登山には18人が集まり、登山口から45分程かけて山頂へ到着。日の出時刻(7時7分)を過ぎ、赤く染まった東の空から太陽が顔を出すと、参加者は歓声を上げ、初日の出を写真に収めていました。細工所自治会の谷口博文自治会長は、「この山は眺めもよいので、ぜひ皆さんに来てほしいと思います。今後は、多くの方にきていただけるよう、展望台が設置できればうれしい」と、その思いを話されました。

倶利伽羅不動尊例祭

毎年、1月3日に栗柄の倶利伽羅不動尊で執り行われる新年恒例の「倶利伽羅不動尊例祭」。栗柄の地名はこの倶利伽羅不動尊に由来するとされています。この日は、雪が降りしきる中、市内の修験者グループ「丹波大峰会」の皆さんが不動明王への祈禱を行った後、広場に設置された護摩壇に点火(大護摩炊き)。火と煙がごうごうと立ち昇る中、願い事がしたためられた木札を投げ入れていきました。その後、護摩壇を崩し、焼けて炭になった丸太を並べて、火渡りの儀式「火生三昧」へ。参拝者は熱さの残る丸太の上をはだしで歩き、1年の無病息災や家内安全を祈りました。栗柄自治会の恒田正美自治会長は、「今後、伝統的な神事を未来へと継承していくため、時代に合わせた形を模索しながら、将来へとつなげていきたい」と話されました。



食の聖地

丹波篠山グルメ感謝フェア 残り3カ月!

2025年4月1日から開催している「食の聖地 丹波篠山グルメ感謝フェア」は、市内の飲食店など約40店舗が参加する市内周遊グルメイベントです。地元食材を生かしたこだわりの一皿や、季節ごとのテーマメニューを楽しみながら、丹波篠山の魅力を余すことなく味わえるフェアとして一年を通じて開催されてきました。

スマートフォンアプリを使ったスタンプラリーも実施中!
参加店舗で食事をしてスタンプを集めるとうれしい特典盛りだくさんです。



先着500人にオリジナル日本手ぬぐいプレゼント(残りわずか!!)

豪華賞品(丹波篠山牛や丹波篠山米など)が当たる抽選にも自動エントリー!

丹波篠山国際博 ファイナル 3月20日(金・祝)開催!

今年度開催してきた「丹波篠山国際博 日本美しい農村、未来へ」も、いよいよ終盤を迎えました。この1年を振り返り、これからの未来へつなぐセレモニーを開催します。当日は、関西学院大学の学生によるプロジェクションマッピングも実施予定!
ぜひお越しください。
※詳細は次号に掲載予定です。

2月を楽しむ【祭事・イベント】

- ふくすみ雪花火(花火やおいしい食べ物が楽しめます) = 14日(土)~ / 福住地区内
- 丹波篠山市民ミュージカル「シンデレラ」~ハシバミの木と愛の魔法~ = 7日(土)・8日(日)・11日(水・祝) / 田園交響ホール
- みんなでつくる丹波篠山国際博モニュメント子ども参加ワークショップ = 8日(日) 13:00~ / 丹波篠山市民センター
- おとう子授け法要 = 11日(水・祝) 10:00~ / 大熊瑠璃寺・薬師堂
- 特別講演会アフター万博セミナー ~丹波地域の観光を考える~ = 11日(水・祝) 13:30~15:30 / 四季の森生涯学習センター
- 立町明星院初庚申祭(篠山城下三庚申のうちの一つ「立町明星院」をお祀りして開催しています) = 15日(日) 9:00~ / 高砂会館の前(立町109)
- 丹波篠山映像祭トリックアート展 = 15日(日) 10:00~ / 四季の森生涯学習センター
- お茶を通じた日本文化の体験交流会 = 15日(日) 10:00~ / 三尾山弘誓寺
- 栄養士がつなげる丹波篠山の「こめ、まめ、やさい」(地産地消でおいしい、を広める活動をしています。今年は「まめ」をテーマに講演、料理教室を行います) = 17日(火) 9:30~13:00 / 丹波篠山市民センター
- 第2回桶ッ卓球世界大会 in 丹波篠山 = 22日(日) 8:45~ / 四季の森生涯学習センター
- 第50回記念篠山少年少女合唱団リサイタル = 22日(日) 14:00~ / 田園交響ホール

丹波篠山

いのしし春祭り

~ごちそうと器と人めぐり~

とき 3月15日(日)
10:00~16:00

ところ 田園交響ホール
西側駐車場

内容 猪肉料理・丹波焼陶器市・市内有名店
出店・地野菜販売など

問い合わせ 丹波篠山いのしし祭り実行委員会
☎506-1535



文化庁「100年フード」に認定された、丹波篠山を代表する伝統食「ばたん鍋」。受け継がれてきた猪肉の食文化と、豊かな自然が育む四季折々の特産物が織りなす味わいは、ここでしか出会えない地域の宝です。
城下町の風情や農村景観、丹波篠山ならではの「味わい深い時間」を多くの人に体験していただくため、丹波篠山国際博の一環として、市内事業者の皆さんと連携し、食を通じて交流が広がる新しいにぎわいを創出します。
伝統と革新が会う食のまち・丹波篠山の魅力を、ぜひ体感してください。

夢への かけはし

教育やスポーツ、文化・芸術などの分野で活躍する若者たちを紹介します。

HC HYOGO HEARTS(中学生男子ホッケー)所属の 福本陽向さんと山本新太さんが日の丸背負い、奮闘



HC HYOGO HEARTS
福本陽向さん(左)
山本新太さん

HC HYOGO HEARTSに所属する福本陽向さん(篠山中3年)と山本新太さん(篠山東中3年)。全国から集められた100人を超える選手の中から、U-15日本代表に選出され、オーストラリアのパスで開催された国際大会に出場しました。大会には、地元オーストラリアやマレーシア、シンガポール、韓国からのチームが参戦。福本さんは日本チーム最多の5ゴールを挙げ、山本さんは守備の要としてチームを統率するなど、日本チームの3位入賞に貢献しました。大会を終えて、福本さんは「初めての国際試合で緊張しましたが、体格が大きい外国人選手を得意のドリブルで突破し、得点を決めることができました。これから、さらに次のU-18、そして日本代表をめざして高校でも頑張りたいと思います」。続けて、山本さんは「相手チームは身長が高くリーチもあり、対応するのが難しかったですが、自分のホッケーが通用したことは自信になりました。この貴重な経験をチームの仲間に伝えていきたいと思ひますし、世界の舞台で活躍できる選手になるため切磋琢磨していきます」と、その熱い思いを話しました。

大学連携でんしよばと

問い合わせ
神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ ☎FAX506-6628
丹波篠山フィールドステーション ☎FAX506-2366

学生・アクション ラーニング



第6回丹波篠山研究発表会を 開催します

お世話になっている地域の方、これから大学生や研究者と何か一緒に
やってみたいという方、どなたでもぜひご参加ください！

丹波篠山研究発表会ってなに？

丹波篠山市をフィールドに調査研究や実践活動をしている大学生や研究者の成果を市民の皆さんに報告するイベントです。
今年は、丹波篠山に関する研究成果報告の口頭発表と、大学生などによる実践活動報告のポスターセッションが予定されています。

日時 2月28日(土)10:00~16:00
場所 丹波広域農業研修センター (JA丹波ささやま本店隣)
*聴講は事前申し込み制です(無料)

神戸大学・丹波篠山市地域連携プログラムフェイスブック▶
<https://www.facebook.com/sasayamaXkobe.univ>



※プログラムや申し込み方法は、2月上旬をめどに、
神戸大学・丹波篠山市のFacebook、新聞などで案内します。



▲昨年の様子

ユネスコ工芸都市加盟認定から10年。活躍する工芸家たちの手仕事に迫り、
作品に込められた想いや制作のこだわりを紹介します。

つくる人 Vol.10

うまかわゆうすけ 馬川祐輔さん



丹波篠山市展河合賞受賞作品
aimaimoko(あいまいもこ)

陶芸家で、丹波篠山市の曾地口に工房を構えられている馬川祐輔さん。陶芸家の父親の影響もあり、幼い頃から日常的にアートにふれてこられました。大阪芸術大学や岐阜県多治見市の陶磁器意匠研究所で陶芸を学んだ後、多治見にある製陶所で3年間勤務しながら、製作されてきました。その後、2013年に丹波篠山に移住し、作陶を続けています。
馬川さんは、電動ろくろを使わず、手や指、または手回しろくろを使って粘土をこねて形を作り上げる手法「てびねり」を用いて、普段使いの器から、立体オブジェまで幅広く制作されています。その作品は、ひとつひとつ異なる表情を持っており、表面には、一度釉薬をかけて本焼きしたものの上から、人の顔や植物などをイメージしたものを描き(上絵付け)、さらにグラインダーで表面を仕上げられ、独創的な作品を作り上げられています。
2022年に行われた丹波篠山

催しのご案内

■馬川祐輔 陶展

- ・1月21日(水)~27日(火) 10時~20時
※最終日は16時に終了。
- ・阪急梅田本店7階 美術画廊

市展では、最優秀賞の河合賞を受賞。作品の「aimaimoko(あいまいもこ)」には、現代社会は白黒はつきりさせないと成り立たない世の中だが、あいまいなものでいいものまでつきりさせることに、もやもやするといった感情が込められています。「自然と常に触れ合いながら、その中からインスピレーションを得ています」と話される馬川さん。独特の世界観を作品で表現されています。
「市内では、『丹波篠山・まちなみアートフェスティバル』や『丹波篠山クラフトヴィレッジ』にも出展しているので、機会があれば、ぜひ見に来てほしいと思ひます」。続けて、「今後も自分らしい作品を作り続けていきたいです」とにこやかに話されました。



地元で働く選択肢

新型コロナウイルス禍以降、地方での就職や移住を検討している人が増え、地方回帰が注目されています。市内ではどんな企業が活躍しているのか、インタビューを通じて紹介します！
創造都市課 ☎552-5796



地元就職を選び、岡本銘木店に決めた理由は？

市内でスポーツのチーム活動を続けているのが大きな理由でした。好きな活動を続けるためにも、地元で就職したいという気持ちが強かったです。

市内で開催された企業面接会で会社説明を受け、「木材関係」の仕事に興味を持ち、見学時の会社の雰囲気がとても良かったので、すぐに決めました。

お仕事内容を教えてください

主に、CADデータを基に加工した木材の検品と梱包を担当しています。高校では建築を学んでいましたし、入社後の研修では設計の作業もやらせてもらいました。専門知識を増やしていけるのが楽しいです。

趣味の活動と仕事は両立できていますか？

はい。お休みは取りやすいです。休日に体を動かしてストレス発散できていますし、友達と温泉巡りなども楽しんでいます。

30代の若い従業員も多く、同級生もいるので、人間関係も良く、ワークライフバランスがとりやすい環境だと思います。



就職を考える方へ、一言お願いします！

分からないことがあっても、従業員はみんな優しく教えてくれます。自分のしたいことを積極的に発信し、プレずに頑張れる人であれば、必ず成長できます。趣味や生活も大切にでき、不安なく働ける環境なので、ぜひ一緒に働きましょう！

社員の絆を深めるイベントも充実

＼ 運動会 (年1回) /
仕入先やご家族も招待し、200人以上が参加！

＼ 海外社員旅行 (2年に1回) /
交通費・宿泊費は会社が全額負担。社員の交流を深める貴重な機会です！

ここで得られる4つの成長スキル



1. 実践的コミュニケーション能力
職場で働く海外出身の仲間との積極的な交流を通じて、国際的な視野と対応力が磨かれます。

2. 木材・建築の専門知識
木材加工、木構造、建築に関する専門的な知識を深く習得できます。

3. 機械操作・技術力
各種機械の操作に関する知識や、最新鋭の加工機を扱う技術が身につきます。

4. 目標設定・達成技術
目標設定と達成の技術を会社全体でサポートします。意欲次第で20代での管理職や営業職へのキャリアアチェンジも可能です。



求めるのは「意欲」と「誠実さ」

地道な作業をコツコツと続けられる方や、気になったことは細かい部分までしっかり確認できる方、そして機械を扱うのが好きな方に向いています。男女問わず、意欲と適性があれば誰でも活躍できる職場です。



株式会社岡本銘木店 丹波篠山工場

所在地：丹波篠山市北 378-1
TEL：556-5454

最新鋭の工場で木造建築の未来を創る

岡本銘木店は、構造用の木材のプレカット加工を通して木造建築の未来を支える技術志向の企業です。西出さんが働く丹波篠山工場は、2023年2月に新設されたばかりの大規模プレカット工場です。



ふるさといちばん

市長の **HOT** と一く

丹波篠山の時代をつくろう

今月のこんにちは市長室

市長が市政に対してのご意見やご要望をお聴きする場として開催しています。事前の申し込みは不要で、懇談会または1人15分程度の面談です。

とき 2月10日(火) 16:00~19:00
ところ 本庁舎3階 応接室
問い合わせ 市長公室 ☎552-5109

今年は「天馬の如く」

1月5日に市役所本庁と各支所で仕事始めの会を行いました。今年のテーマは「天馬の如く」。午年は飛躍の年と言われます。失敗してもくじけず、地道に努力すれば予想もしなかったような成功が得られると言われる年です。丹波篠山市もそんなよい年でありたいと思います。



皆さん、ご存じでしたか？

県内で最も治安がよいのは「丹波篠山市」です！

兵庫県内の治安よさランキングで丹波篠山市が1位に選ばれました。これは、ダイヤモンド不動産研究所調べの治安ランキングによるものです。また一つ、「治安のよさ1位」という自慢が増えました。

市としても、防犯カメラの設置や防犯用品の購入などに補助金を出していますし、地域には見守り隊の方々がおられます。何より、丹波篠山市は穏やかでよい人ばかりなのです。

小さな自然再生サミット2025 京都大会

発表内容

昨年12月、小さな自然再生サミット2025京都大会が開催され、丹波篠山市が取り組む「ふるさとの川づくり」について、市職員が発表しました。水辺で取り組む小さな自然再生の深化と広がりに向けて、相互交流を通じて今後の新たな活動や協働に展開していくことを目的とする大会で、全国から30団体の発表がありました。

市では多種多様な生きものが暮らす河川環境を保全・再生し、その魅力を次世代に引き継いでいくため、平成25年に「ささやまの川・水路づくり指針」を策定しました。

この指針に沿った取り組みとして、地域や学校、環境創造事業者と連携して、身近な川を生きものと子どもたちの笑顔あふれる豊かな川に再生させる取り組みとして「ふるさとの川再生事業」を実施しています。

代表的な取り組み



篠淵川 魚道整備
(丹波篠山市川阪)
生きものの遡上効果を図るため、落差部解消への魚道を設置。



畑川 魚道整備
(丹波篠山市畑宮)
地元まちづくり協議会や小学校・高校との連携により、魚道を設置。



高坂川合流水路環境配慮対策
(丹波篠山市高坂)
石積水路などを整備。地元自治会での水路づくりとの連携による農村地域の環境保全への取り組み。



波賀野川親水護岸整備
(丹波篠山市見内)
魚道設置に併せ、浅瀬形成による児童・幼稚園児への親水スペースの整備。

特集
タウントップビジネス
HOTOと一く
市政リーダー
インフォメーション
おでかけ相談
はぐくみ
街かどリポート
栄光輝く
まちの話